

報道関係各位

日本メドトロニック

耳鼻咽喉科領域における手術用デバイス「**ApexCut™**ブレード」の販売を開始
—副鼻腔手術の効率性向上を目指す新世代ブレード—

日本メドトロニック株式会社（本社：東京都港区）は、耳鼻咽喉科（ENT）領域における新しい手術用デバイス「**ApexCut™**ブレード」を、2026年9月16日より日本国内で販売開始したことをお知らせいたします。



ApexCutブレード 医療機器届出番号：13B1X00261X00044

ApexCut™ブレードは、当社のニューロサイエンスポートフォリオにおけるENT事業の新製品であり、耳鼻咽喉科医との緊密な連携のもと、副鼻腔手術などにおいて医師が直面する課題の一つであるデバイス内部の詰まり（クロッキング）の軽減を目的に設計されています。本製品は、新たな刃先構造（**tooth-to tooth mouth design**）と、先端から基部へ切除を行う切削パターン（**distal-to proximal cutting pattern**）を採用しています。また、湾曲ブレードには独自の**FlexMetric™**テクノロジーを搭載しており、クロッキングによる手術中断の低減、医師の操作性と手技効率の向上に貢献します。

東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科の教授である鴻 信義 先生は、「副鼻腔手術におけるデバイスの性能は、手術の流れや精度に大きく影響します。**ApexCut™**ブレードは、内部構造の工夫に

より吸引効率の最適化を目指した点が特徴であり、今後の臨床評価が注目されます。」と述べています。

メドトロニックのニューロサイエンスのポートフォリオの一つであるENT事業部 ビジネスダイレクター 丸山 雅史は、次のように述べています。「ApexCut™ブレードは、耳鼻咽喉科領域の手術における重要な課題である手技の効率性と安定性の向上を目指して開発された新しいデバイスです。本製品の導入により、医療従事者の皆様がより円滑に手術を行うことが可能となり、その先にいる患者さんに対して、より質の高い医療の提供に貢献できるものと期待しています。今後もメドトロニックは、革新的なテクノロジーを通じて医療の質の向上に寄与してまいります。」

ApexCut™ブレードは2026年 5月11日に国内で薬事承認を取得しています。

【内視鏡下副鼻腔手術とは】

内視鏡下副鼻腔手術は、慢性副鼻腔炎に対して行われ、内視鏡下にて、マイクロデブリッダーと呼ばれる組織吸引ブレードなどを用いて行われる体に負担の少ない手術です。狭窄又は閉塞した副鼻腔から鼻腔への排出路を開大することで鼻腔への交通を確保して排膿させ、副鼻腔の病的粘膜を切除することにより、粘膜の再生・治癒を目的とした手術です。最近ではナビゲーション支援機器も普及しており、より安全な手術が行えるようになってきています。国内では毎年50,000件を超える手術が行われており¹、疾患の認知や手術法の改良により今後も増加が見込まれています。

1. 令和5年（第10回）NDBオープンデータより内視鏡下鼻・副鼻腔手術算定件数より算出

【メドトロニックについて】

大胆な思考。より大胆な行動。私たちはメドトロニックです。Medtronic plc（本社：アイルランド、ゴールウェイ）は、ヘルスケアテクノロジーをグローバルにリードし、人類が直面している多くの困難な健康課題に積極的に取り組み、ソリューションを探し、見つけ出します。150カ国以上にまたがる情熱を持った9万5千人以上の従業員からなるグローバルなチームを団結させているのは、「人々の痛みをやわらげ、健康を回復し、生命を延ばす」という私たちのミッションです。私たちは70以上の健康課題を治療する、心臓ペースメーカー、手術支援ロボット、外科用手術機器、患者モニタリングシステムなどの多様なテクノロジーと治療法を提供しています。私たちは、多様な知識、飽くなき好奇心、そしてそれを必要とするすべての人を助けたいという思いを原動力に、革新的なテクノロジーで、1秒に2人の人々の生活を、毎時間、毎日、変え続けていきます。メドトロニックは、インサイト（洞察）に基づいた治療法の提供、人を第一に考えたエクスペリエンス、そして世の中により良いアウトカム（結果）をもたらすことに注力していきます。

私たちは何ごとにもエンジニアのマインドを持って、想像を超えるものを創り出します。

Webサイト www.medtronic.com

【日本メドトロニック株式会社（Medtronic Japan Co., Ltd.）について】

日本メドトロニックは1975年の設立以来50年以上にわたり、生体工学技術を応用し、慢性疾患

をお持ちの方々の痛みをやわらげ、健康を回復し、生命を延ばす医療機器を通して人類の福祉に貢献することを目指しています。メドトロニックが提供する先端医療技術は、心臓疾患をはじめ、パーキンソン病、脊椎疾患、脳疾患、慢性的な痛みなどを広くカバーしています。

Webサイト www.medtronic.co.jp

【本リリースに関する報道関係者お問い合わせ先】

日本メドトロニック株式会社 コミュニケーション 担当：相子

電話：03-6776-0002（部門代表） Email：rs.japanprcom@medtronic.com

なお、将来の業績見通しに関わるすべての記述は、メドトロニックが米国証券取引委員会に提出する定期報告書に記載されているようなリスクや不確定要素の影響を受ける場合があります。実際の業績は予想と異なる可能性があります。